

農業振興への取り組み

JAバンク三重は、JAグループの一員として、「農業生産の拡大」「農業者の所得増大」の実現に向けて、金融・非金融の両面から、地域農業の振興に資する取り組みを行っています。

▶ 地域農業の発展への取り組み

● 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク三重では、資材価格高騰等の影響を受ける担い手の皆さまが安心して事業を継続できるよう、“担い手金融リーダー”を中心に、農業資金の融通はもとより、公的支援制度や販路拡大先のご紹介、事業承継や法人化への相談対応などの担い手の経営ニーズにあわせた各種支援策に積極的に取り組んでいます。

また、農業者の課題解決に向けた相談対応力を強化するため、“JAバンク農業金融プランナー”や“農業経営アドバイザー”の資格取得を進めており、令和5年度末時点での有資格者数は202名となりました。



園芸施設への訪問



茶畑への訪問



牛舎への訪問

● 利子補給等による農業経営の支援



JAバンクでは、農業経営を資金面でサポートできるよう農業資金をご利用いただいているお客さまに対して「JAバンク利子補給事業」を実施しており、最長5年間、最大年1.0%の利子補給を行っています。本県では令和5年度において、1,739件、5,757万円の利子補給を行いました。

このほか、農業法人等の規模拡大や財務安定化をサポートするため、アグリビジネス投資育成株式会社と連携し、資本供与の枠組みとして設けた「アグリシードファンド」の利用提案を行いました。

● ビジネスマッチングによる農畜産物等の販路開拓支援



当会は、県内農畜産物やその加工品の消費拡大を目的に、「食の大商談会inみえ」（三重県等と共催）を、令和5年10月に開催しました。当商談会では、生産者や加工業者とバイヤーが一堂に会し、202件の個別商談が行われました。

また、令和6年3月には、JR東海グループが開催する合同商談会へ協賛し、お取引先企業7社と同グループの関連会社との個別商談が行われました。

このほか、当会がお取引先企業と系統団体、お取引先企業同士の仲介役となり、県産食材の販路拡大や同食材を活かした商品開発等にかかるマッチング支援を133件実施しました。



ビジネスマッチングイベントの開催風景

● 経営ニーズに応じた資金供給およびコンサルティング機能提供



JAバンク三重では、農業経営資金をはじめとしたプロパー資金、各種制度資金、日本政策金融公庫資金等の的確な資金供給対応に加え、農業者の皆さまの法人化、事業承継などの経営課題解決に向け、税理士などの外部専門家と連携したコンサルティング機能の提供を行いました。

このほか、クラウドファンディングを活用したお取引先企業の新規商品開発・資金調達の支援や、食品製造・加工の際に発生する食品残渣の利活用に向けた肥料化・飼料化の支援など、農業者の経営ニーズに応じた支援に取り組んでいます。

● 新型コロナウイルス感染症および物価高騰への対応



JAバンク三重では、新型コロナウイルス感染症および物価高騰により影響を受けられたお客さまを対象に、資金相談窓口を通じて返済条件の緩和等に取り組むとともに、農業者の皆さまに対しては、実質無利子化措置等を講じた新型コロナウイルスおよび物価高騰対策資金による資金繰り支援に取り組みました。なお、県下JAにおける当資金の令和5年度貸出実績は138件、5億1,397万円となり、当資金を発動した令和2年3月からの累計では458件、18億3,689万円となりました。

このほか、JAグループ三重では、県産農畜産物の消費促進運動を展開するとともに、お取引先企業の農畜産物の役職員向け斡旋などを通じた応援消費に取り組みました。